

とようらぎ



地元の子供たちによる魚の放流

環境に配慮した排水路(圃場整備事業・三悠乙見江地区)池之端地内

目次

- 2 …… **新年のご挨拶**
- 3 …… 臨時総代会開催
- 4・5 …… H19年度決算
- 6 …… 国営事業借入償還始まる
- 7 …… 県営事業動く(奥右エ門川)
- 8・9 …… 新しく決まった総代・理事監事選出区割り
- 10・11 …… **シリーズ「食と農」**
- 12・13 …… 圃場整備事業(三悠乙見江地区・太斎地区)
- 14 …… H20年度工事(県単・適正化事業)
- 15 …… H20年の**内の倉ダム**
- 16 …… 維持管理委員の選任のお願い
- 17 …… 理事会ごよみ
- 18 …… お知らせと**お願い**

太齋地区

圃場整

圃場づくり 一体となった 地域づくり

特定非営利活動法人

理事長 若月 学

NPO法人加治川ネット21では、イバラトミヨが生息するすばらしい水辺環境を地域の皆様とともに守っていききたいと、太齋地区でイバラトミヨに関する説明会やふるさと生き物観察会などを行いながらその啓発に努めてきました。

また、一昨年9月には、ほ場整備工事により生息地が消失したイバラトミヨなどの生き物を保全するために、地域の皆様や関係機関、荒橋小学校の子どもたちと一緒に太齋地区のファームポンド内にエコトーン（移行帯…水域から陸域に変わる植生豊かななだらかな岸辺）を設置しました。

さて、当会では、太齋地区のファームポンドにエコトーンを整備してから、これまでに3度追跡調査を行っています。

整備後初めての春となる昨年5月の調査では10種の植物がみられました。整備後のほぼ1年後にあたる8月の調査では17種の植物が繁茂し、ほぼエコトーン全面を覆っている状態です。さらに、10月の調査では、陸域には昆虫類やアマガエル、水際にはヤ



マサナエの抜け殻がみられ、浅瀬には今春に孵化したアブラハヤの稚魚や粗朶を利用して休息するイバラトミヨが観察されるなど、エコトーンの有効性が裏付けられています。

この太齋地区のファームポンドは、土底の部分を残し、湧水を確保するなど、生物に配慮した構造となっています。また、この太齋地区では、バイクモを守るため水路に土底の部分を残す工法が取り入れられているほか、イバラトミヨの営巣地である久保集落上流の清水川を土水路のまま保全するなど、様々な取り組みが行われています。

このような取り組みにより、イバラトミヨをはじめ、イバトミヨ、ホトケドジョウ、シガメ、マツカサウ、スナヤツメ、ガイ、トノサマガエルなどの絶滅危惧種やホタルなどの生物も保全されるでしょう。

当会では、今後も地域の方々と協調しながら、太齋地区の変遷を観察し、よりよい農村環境を保全していきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



荒橋小学校の生徒たち
総合学習



NPO法人 加治川ネット21
理事長 若月 学



ファームポンド内
春の観察会